取扱説明書

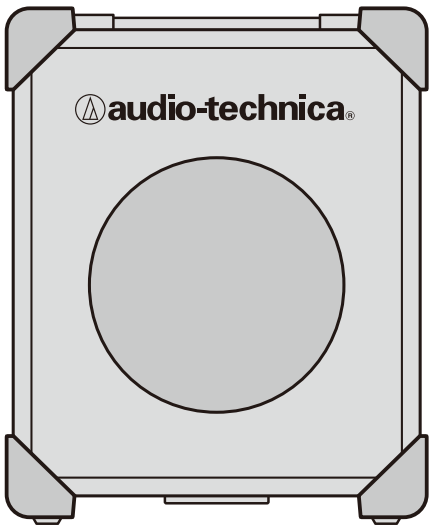
audio-technica®

UHF ワイヤレスアンプシステム

ATW-SP707/P

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

別売：単2形乾電池×8（ワイヤレスアンプ用）



ATW-SP707/P システム内容

ワイヤレスアンプ **ATW-SP707**

別売　用途に合わせてお選びください。

ワイヤレスマイクロホン（ハンドヘルドタイプ）
ATW-T705/P　￥40,000.（税抜）

ワイヤレストランスミッター
ATW-T107/P　￥23,000.（税抜）

ワイヤレスレシーバー
ATW-R103/P　￥36,000.（税抜）

ラベリアマイクロホン（クリップタイプ）
AT829H/P　￥8,000.（税抜）

ヘッドウォーンマイクロホン（ヘッドセットタイプ）
PRO8HEW/P　￥8,000.（税抜）

キャリーバッグ
CBG-1　￥11,000.（税抜）

特長

- ●外来ノイズの影響に強いUHF800MHz帯ワイヤレスアンプシステム。
- ●一体型なので面倒な接続不要で学校や講演、ビジネスなどに最適。出力20W。
- ●ワイヤレスアンプの電源はAC100V、もしくは単2形乾電池の2ウェイ。室内や屋外など使用場所を選ばない。
- ●周波数の切り換えスイッチ付きなので状況により設定可能。
- ●ワイヤレスアンプ背面にはマイクボックス付きでコンパクト収納。
- ●コンパンダーの採用により広大なダイナミックレンジと低ノイズ化を実現。
- ●ワイヤードマイク2本が使用できるほか、CDプレーヤーなどの入力も可能。
- ●持ち運びに便利なベルト付き。

目次

⚠注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
複数のワイヤレスシステムを使用するには ・・・3
電池の入れかた ・・・・・・・・・・・・・3
各部の名称と機能 ・・・・・・・・・・4～5
接続のしかた ・・・・・・・・・・・・・・6
使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・・6
故障かな？と思う前に ・・・・・・・・・・7
外形寸法図 ・・・・・・・・・・・・・・・7
テクニカルデータ ・・・・・・・・・・裏表紙

⚠警告

発熱、損傷、けが、火災、感電、故障などをさけるため下記のことを必ずお守りください。

- AC100Vの電源に使用してください。
- 異常な音、煙、臭いやコードなどの発熱、損傷などが出ましたら、直ちに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店か、当社の相談窓口までお問い合わせください。
- 電源ケーブルは、無理な力（重たいものをのせる、引っ張るなど）を加えないでください。
  万一、本体やケーブルなどが傷ついたときは、交換してください。
- 分解や改造はしないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。

⚠注意

発熱、損傷、けが、火災、感電、故障などをさけるため下記のことを必ずお守りください。

- 電源プラグの抜き差しは、必ずプラグ部を持って行ってください。
- アンテナはゆっくりと立ててください。急に立てると目を突いたりする恐れがあり、危険です。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
- 水がかからないようにしてください。
- 火気に近づけないでください。
- 布などでおおわないでください。
- 長時間使用しない時には、電源プラグを抜いてください。長い間保存するときには、機器をビニールなどで包み、湿気らないようにしてください。

⚠電池の注意

- （＋）（－）の向きを正しく入れてください。
- 長い間使わないときは電池を外しておいてください。長時間、連続使用された場合は早めに新しい電池と交換してください。
- 液もれが起きた場合は、バッテリーケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 電池を火の中に捨入したり、加熱しないでください。
- 環境保全のため、使用済み電池は新品購入時に販売店にお持ちください。

メンテナンス上の注意

- 汚れたときやほこりが付いたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ベンジン、シンナーは使わないでください。コンセント部やプラグ部に接点復活保護液を使わないでください。

使用上の注意

- ワイヤレスシステムは自動車のスパークノイズ、照明用調光装置、コンピューター、OA機器、電子楽器などの影響を受ける場合があります。影響を受けにくい位置に設置してお使いください。
- 本機のワイヤレスシステムは標準規格に基づいて製造されておりますが他のメーカーとの組合せはご使用できません。
- ワイヤレスマイクロホンに使われているUHF帯の電波の特性は波長が短く直進性が強いので、マイクロホンとレシーバー間に障害物があると音切れの原因となる場合があります。直視できるような位置関係でご使用ください。

複数のワイヤレスシステムを使用するには

複数でご使用の際は、各々異なった周波数でお使いください。
同一の周波数で複数のマイクロホンを使用することはできません。
1つの周波数に対してマイクロホンは1本としてください。

＊既存モデルの **ATW-SP77**、**ATW-SP88**、**ATW-T70**、**ATW-T17J**、**ATW-R13** をお持ちの方は、右表の周波数表示（B11～B16）をご参照のうえ、チャンネルを合わせご使用ください。

本体表示	周波数
1	B11： 806.125MHz
2	B12： 806.375MHz
3	B13： 807.125MHz
4	B14： 807.750MHz
5	B15： 809.000MHz
6	B16： 809.500MHz

使用上の注意

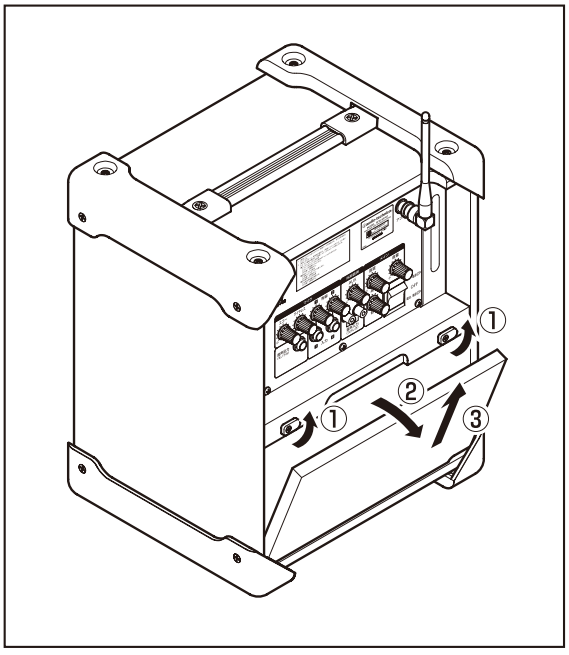
●同一場所で複数のマイクロホンを使用する場合、必ず各チャンネルごとに異なった周波数セットでご使用ください。
●マイクロホンとワイヤレスアンプは2m以上、またマイクロホン同士は2m以上離し、近づけない状態でお使いください。
●B型ワイヤレスマイクロホンシステムの周波数は、電波法により定められております。お近くの別の場所で同じB型ワイヤレスマイクロホンシステムを使われている場合、混信することがあります。その場合は、周波数を切り換えてお使いになるか、電源を切って使用を中止してください。

電池の入れかた

1. ワイヤレスアンプの電源を**オフ**にします。
（**4～5ページ**の**「各部の名称と機能」**を参照してください）

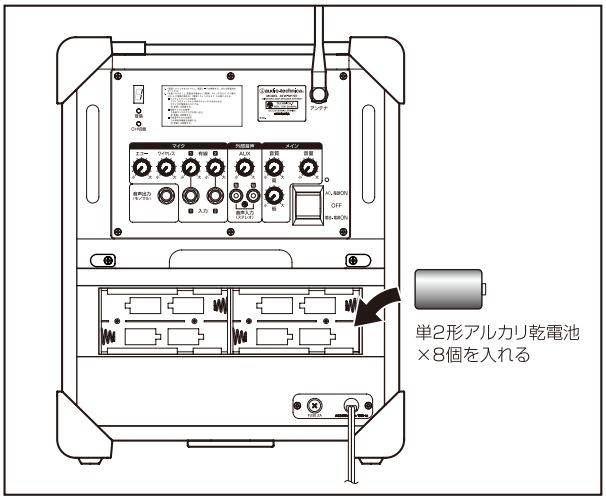
2. リアカバーを外します。

固定止め金（2ヶ所）を回転させ、リアカバーを外します。
＊図の矢印の順番でリアカバーを取り外してください。



3. 市販の単2形アルカリ乾電池8個をケース内の極性表示に合わせて入れます。

※ 電池はアルカリ電池をご使用ください。
※ 電池の極性を正しく入れないと主要部分を破損する恐れがあります。
※ 電池駆動の際、電池が消耗しますと、背面の電源インジケーターが消灯し、音が出なくなります。



4. リアカバーをはずす順番と逆にして取り付け、最後に固定止め金（2ヶ所）で閉じて完了です。

5. ご使用中に、音切れ、ノイズ音、音声がでないといった症状が発生しましたら、電池残量がありません。すべて新しい電池に交換をお願いします。

各部の名称と機能

① マイク1、2入力端子
ワイヤードマイクロホンを接続するφ6.3モノラル標準ジャックです。

② 音声出力端子（モノラル）
本機の音を録音したい場合に使います。
録音したい機器のライン入力へφ6.3モノラル標準プラグケーブルを使い接続します。

③ マイクエコーボリューム
接続してあるマイクロホンすべての残響レベルを調整します。右に回すと残響が大きくなります。

④ ワイヤレスマイク ボリューム
ワイヤレスマイクロホンの音量を調整します。

⑤ 受信インジケーター
ワイヤレスマイクロホンからの電波を受信するとイエローに点灯します。

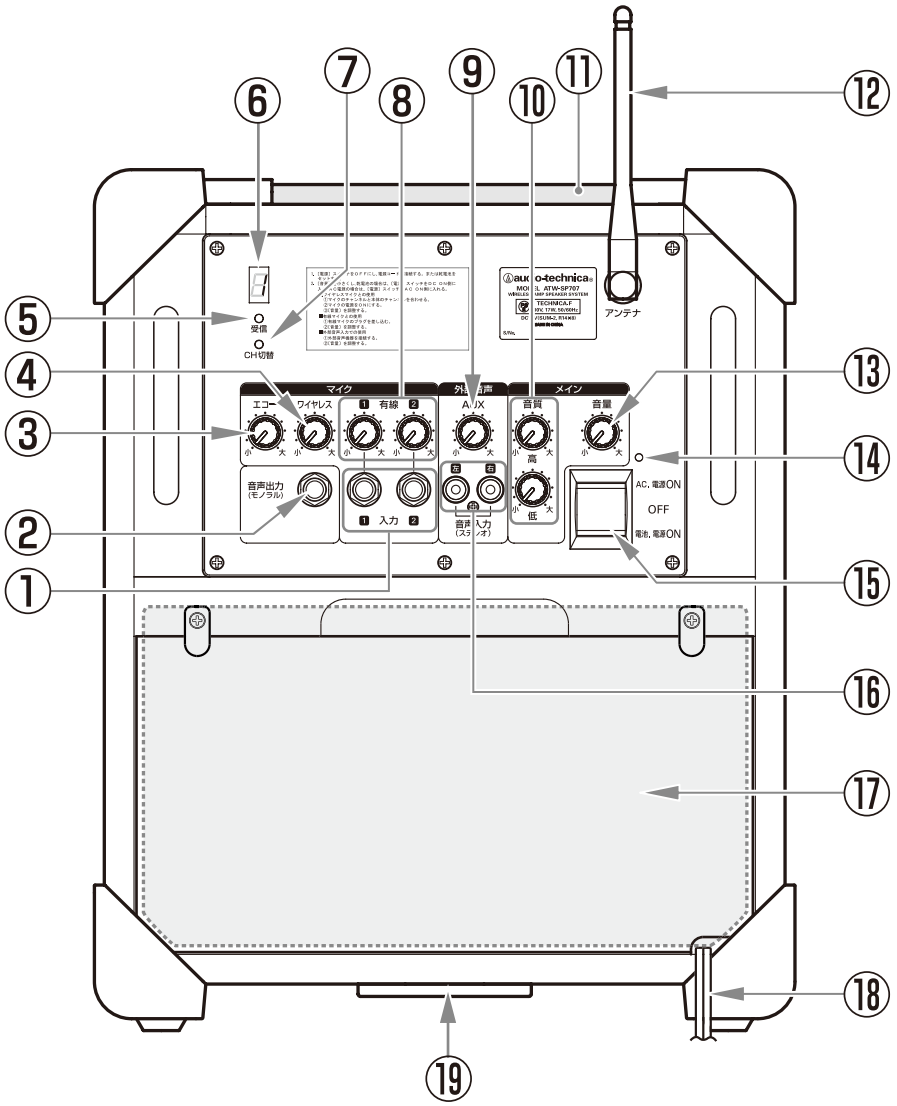
⑥ チャンネル表示窓
現在設定されている受信チャンネルを表示します。

⑦ 周波数切り換えスイッチ
受信チャンネルを切り換えます。押すと順方向でチャンネルが切り換わります。

＊出荷時の設定は1になっています。

⑧ マイク1、マイク2 ボリューム
ワイヤードマイクロホンの音量を調整します。

⑨ 外部音声ボリューム
CDプレーヤーやカセットプレーヤーなどの外部機器の音量を調整します。



⑩ 音質コントロール（高、低）
接続してあるすべてのトーンコントロールです。
「高」では高音を調整でき、「低」では低音を調整することができます。
両方のコントロールをセンターポジションにすることにより、音質がフラットな状態になります。

⑪ 持ち運び用ベルト
持ち運びの際にご使用ください。

⑫ アンテナ
必ず立ててお使いください。

⑬ 主音声ボリューム
出力音量を調整します。

＊すべてのつまみが左に回すと小さくなり、右に回すと大きくなります。出荷時はボリュームは最小で、音質コントロールはセンターで設定されております。

⑭ 電源インジケーター
電池及びAC100Vより電源が供給されるとブルーに点灯します。

⑮ 電源スイッチ
AC電源側にたおすとAC100Vより電源が供給され、電池電源側にたおすと電池から電源が供給されます。OFFにすると電源は切れます。

⑯ 外部音声入力端子（ステレオ）
CDプレーヤーやカセットプレーヤーなどの外部機器のライン出力から接続します。
形状はRCA型ピンジャックです。

⑰ リアカバー及びカバー固定止め金
固定止め金を回転させるとリアカバーを本体より外せます。
- ●電池ケース：単2形乾電池を8本収納します。
- ●マイクロホン収納ボックス
  ：ワイヤレスマイクロホンを1本収納できます。

⑱ AC電源コード（ケーブル長 2m）
家庭用100V、50/60Hzをご使用ください。

⑲ スタンド取り付け穴

接続のしかた

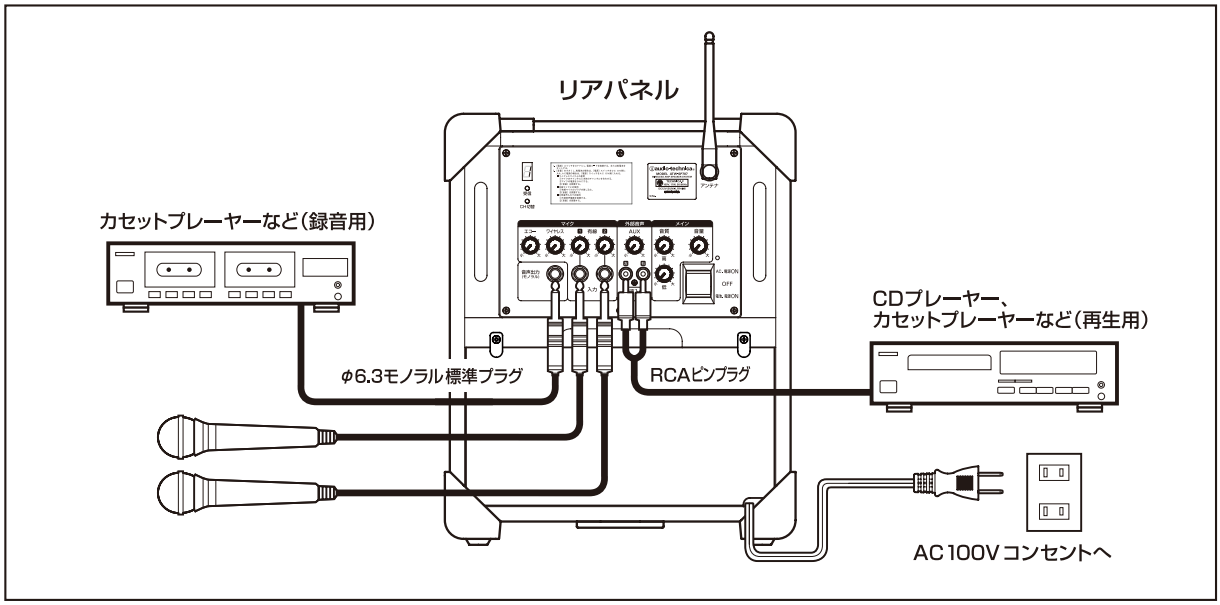
＊接続の前に本機の音量ボリュームは、すべて最小にし、音質コントロールはセンターポジションにしてください。また接続機器の音量ボリュームも必ず最小にしてから接続してください。

1. ワイヤードマイクロホンをマイク入力端子に接続します。

2. 再生用CDプレーヤーやカセットプレーヤーなどを本機（リアパネル）の外部音声入力端子へ録音用カセットプレーヤーなどを音声出力端子へ接続します。

＊接続する機器の出力ジャックがφ3.5ジャックの場合は、別売のケーブルまたは変換プラグをお使いください。

3. AC電源コードをAC 100Vコンセント口に差し込みます。電池をご使用の時は、電池を入れてください。



使いかた

＊接続機器の取扱説明書をあわせてお読みください。

1. アンテナを立てます。

2. ワイヤレスマイクロホン（以下マイク）に電池を入れます。

3. ワイヤレスアンプ（以下アンプ）の電源のオフ状態と音量ボリューム（リアパネル）が絞られている（最小）かを確認します。

4. 電源プラグをコンセント口に差し込みます。もしくは電池を入れます。
（**「接続のしかた」**もしくは**3ページ**の**「電池の入れかた」**を参照してください）

5. アンプの電源を**ON**にします。

6. アンプのチャンネルとマイクのチャンネルを合わせます。

7. マイクの電源スイッチを**ON**側にするとアンプ（リアパネル）の受信インジケーターが点灯（イエロー）します。

8. 主音量以外のアンプの音量ボリュームを上げ調整します。

9. 音に歪みがないようアンプ（リアパネル）の主音量ボリュームを上げ、出力を調整します。

＊ワイヤードマイクロホンやCDプレーヤーやカセットプレーヤーなどの外部機器をつなぐ場合は、電源のオフ状態と音量ボリュームが絞られている（最小）ことを確認してから接続してください。

故障かな？と思う前に

ワイヤレスアンプの電源が入らない

→ 電源プラグがコンセントからはずれていませんか？
電池使用の場合、電池は入っていますか？

⇒ **3ページの「電池の入れかた」と
6ページの「接続のしかた」**を参照ください

音声が出ない

→ 本機のマイク、または主音声ボリュームを絞りきっていませんか？
→ マイクロホンの電源が**OFF**になっていませんか？
→ マイクロホンとワイヤレスアンプの周波数が合っていますか？
→ ワイヤードマイクロホンの場合、プラグがマイク入力端子からはずれていませんか？

⇒ **4～5ページの「各部の名称と機能」と
6ページの「使いかた」**を参照ください

外部接続機器の音がでない

→ 接続機器のプラグが外部音声入力端子からはずれていませんか？
→ 接続した機器は再生モードになっていますか？
→ 接続した機器のボリュームを絞りきっていませんか？

⇒ **6ページの「接続のしかた」**を参照ください

ワイヤレスアンプが受信しない、電波の到達距離が短い

→ アンテナを立てていますか？

⇒ **アンテナを立ててください**

→ ワイヤレスマイクロホンとワイヤレスアンプの周波数があっていますか？

⇒ **4～5ページの「各部の名称と機能」と
3ページの「複数のワイヤレスシステムを使用するには」**を参照ください

ノイズが出る

→ 各ケーブルは確実に機器に接続されていますか？
→ ワイヤレスアンプのそばに蛍光灯や電気器具などのノイズ発生源はありませんか？
→ 同じ周波数のワイヤレスマイクロホンを同時使用していませんか？
→ 近くで同じ周波数帯（B帯）のワイヤレスシステムを使用していませんか？

⇒ **6ページの「使いかた」と
3ページの「複数のワイヤレスシステムを使用するには」**を参照ください

音が割れる

→ 入力信号が大きすぎませんか？

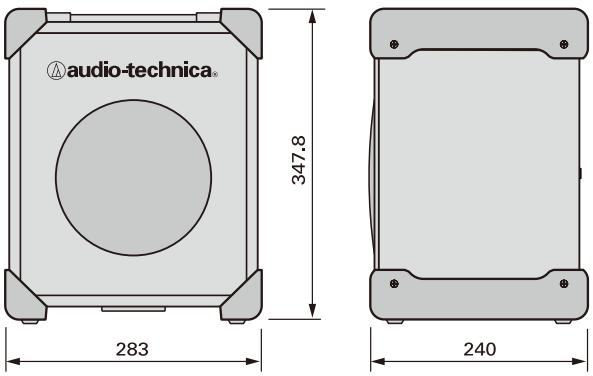
⇒ **つないだ機器の音量を下げます**

音が小さい

→ 入力信号が小さすぎませんか？

⇒ **つないだ機器の音量を上げます**

外形寸法図（単位：mm）



テクニカルデータ

システム総合特性

受信周波数　：1（806.125MHz）
　　2（806.375MHz）
　　3（807.125MHz）
　　4（807.750MHz）
　　5（809.000MHz）
　　6（809.500MHz）
　　の6波から1波をスイッチで選択

周波数特性　：100Hz～15kHz
使用温度範囲　：5℃～45℃

ワイヤレスアンプ ATW-SP707

電源　：AC100V
　　もしくは単2形乾電池×8本
電池寿命　：約3時間（アルカリ電池使用時）
消費電力　：17W
外形寸法　：H347.8×W283×D240mm
質量（電池除く）　：約8.0kg

〈ワイヤレスレシーバー部〉

受信方式　：ダブルスーパーヘテロダイン方式
　　1st IF　45MHz / 2nd IF　10.7MHz
局部発振方式　：水晶制御PLLシンセサイザー
受信感度　：21dBμ（SN比：60dB JIS-A
　　聴感補正、周波数偏移±10kHz）
歪率　：1%以下
出力レベル　：−9dBV（音声出力端子）
　　（±10kHz 周波数偏移 1kHz）
アンテナ　：1/4λヘリカルアンテナ

〈アンプ部〉

定格出力（AC電源使用時）：20W
定格出力（電池使用時）　：7W
定格歪率　：2%以下
入力インピーダンス　：MIC1、2　100kΩ
　　：外部音声入力端子　45kΩ
入力感度　：MIC1、2＝−47dBV
　　外部音声入力端子＝−9dBV
SN比　：65dB（外部音声入力端子）
出力インピーダンス　：音声出力端子　42kΩ

〈スピーカー部〉

形式　：バスレフ型
スピーカーユニット　：16cmフルレンジコーン
周波数帯域　：70Hz～20kHz
最大許容入力（JEITA）　：100W
定格入力（JEITA）　：50W
出力音圧レベル　：88dB

（改良などのため予告なく変更することがあります。）

＊保証期間はお買上げ日より1年です。
保証期間中でも、ケースをあけたりご自分で改造された場合は保証の対象外となります。
詳しくは添付の保証書をご覧ください。

お問い合わせはお買い上げのお店、または当社の相談窓口までお願いします。
TEL(042)739-9161 FAX(042)739-9120
電話受付 平日 9:00～12:00、13:00～17:30
Eメール support@audio-technica.co.jp

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp

232303640B